

ひらたけもんじょ
128. 牧田家文書

■ 指定日

平成25年3月28日

■ 種別

有形文化財 古文書

■ 年代

室町時代

■ 所在地

朝来市山東町大月 埋蔵文化財センター寄託

■ 所有者

個人



■ 内容

牧田家に伝わる中世古文書12点。

年代の判明するものとして、応仁2年(1468)から元亀3年(1572)のものがある。応仁2年(1468)の夜久野合戦において武功をあげ、山名持豊(宗全)から授けられた感状のほか、「山名政豊知行安堵状」、「山名祐豊知行安堵状」、「山名政豊書状」、八代当主「牧田祐盛言上状」など、いずれも朝来市において数少ない中世文書として貴重な歴史資料である。

牧田氏は代々朝来郡牧田郷の地頭で、弘安8年(1285)の「但馬国大田文」には牧田光盛の名がみえる。関東御家人の出身とみられるが、文明年間(1469～87)ごろには山名氏の有力武将となっていた。山名氏の滅亡とともに帰農し、江戸時代には牧田村の庄屋を務めた。